

令和6年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 呉服小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年 年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

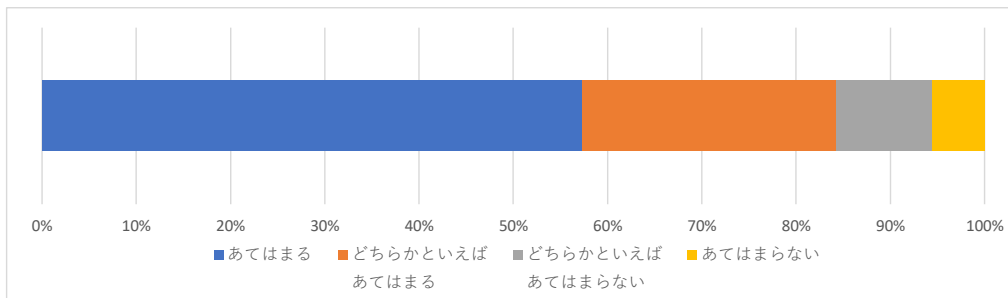
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

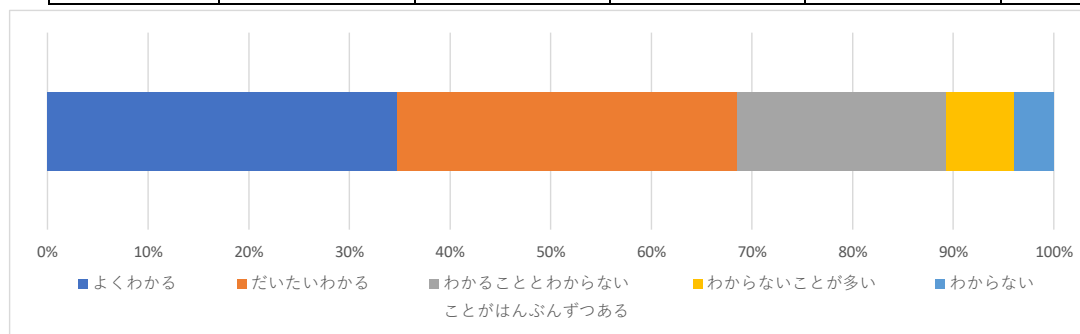
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	52	25	5	3
2年生	50	23	13	7
合計	102	48	18	10



② 英語活動の授業の内容はどのくらいわかりますか。

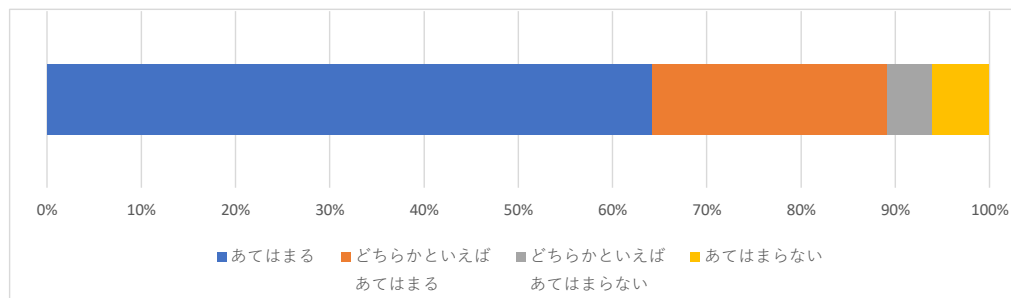
	よくわかる	だいたいわかる	わかることとわからないことがはんぶんずつある	わからないことが多い	わからない
1年生	33	28	19	3	2
2年生	29	32	18	9	5
合計	62	60	37	12	7



3. 保護者アンケートの結果

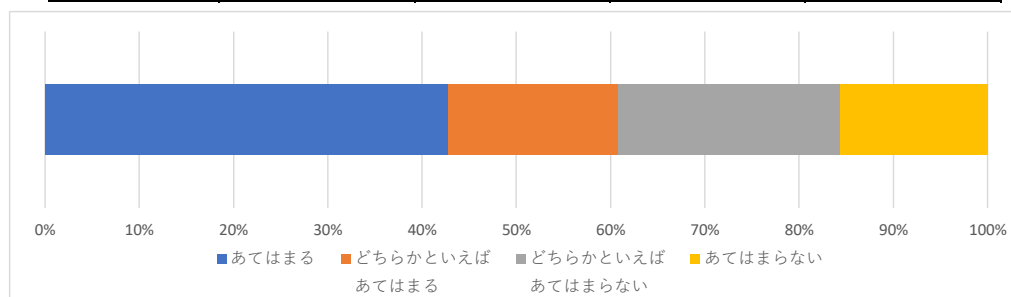
- ① 英語の授業を通して、お子様の英語学習に対する態度や英語を運用する知識・技能の向上を感じましたか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	106	41	8	10



- ② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	71	30	39	26



4. 学校関係者からの意見

- ・英語リーダーが中心となり、全学年の英語教育に携わることで6年間を見通して英語の指導を行うことができた。
- ・英語リーダーと担任の先生、英語リーダーとALTの先生、英語リーダーとALTの先生と担任の先生という3パターンの授業体制を学年や行事予定などを考慮して、柔軟に計画し、より効果的に指導できるよう工夫した。
- ・1～2年生は2週間に1回、3～4年生は1週間に1回、5～6年生は1週間に2回、授業を継続的に実施することで、児童の英語学習に対する意欲を育てることができ、どの学年も英語での簡単な受け答えが抵抗なくできるようになりつつある。
- ・学習した英語を使ってコミュニケーションすることができたという達成感を得るためにはどのように指導すればよいか、各学年ごとにALTの意見を取り入れながら指導を行ってきた。

5. 今後に向けて

児童が外国の文化やことばに興味をもち、学習することができるよう工夫し、ALTと常に連携をとりながら指導していく必要がある。小学校英語で何ができるのか研修を積み、児童がいろいろな人と英語でコミュニケーションをとることができる楽しさを今後教えていきたい。